



# 原発とエネルギーを考える



以下の本はすべて図書館で所蔵しています。展示期間終了後の配置場所は、[請求記号](#)の書いてある書棚をご覧ください。

## ■ 図書

### 《原子力発電とは》

『原子力発電とはなにか・・・：そのわかりやすい説明』 緑の会編. 野草社, 1981.1. (80年代別冊; 1). 出版年は古いですが、書名通り、図入りでわかりやすく書かれている。	468.8/H96
『日本の原子力施設全データ：どこに何があり、何をしているのか』 北村行孝, 三島勇著. 講談社, 2001.9. (ブルーボックス; B-1345). 原子力発電の基礎知識。	543.5/Ki68
『危険な話：チェルノブイリと日本の運命』 広瀬隆著. 八月書館, 1987.4. <span style="background-color: yellow;">オススメ!</span>	543.5/H72

### 《原子力発電所》

『原発事故－日本では?』 高木仁三郎著. 岩波書店, 1986.12. (岩波ブックレット; no.75). 原発事故を考える。	429.9/Ta29
『原発事故はなぜくりかえすのか』 高木仁三郎著. 岩波書店, 2000.12. (岩波新書; 新赤版 703). 原発事故をもう一度考える。	543.5/Ta29/S
『反原発、出前します!：高木仁三郎講義録』 高木仁三郎[述]・監修; 反原発出前のお店編. 七つ森書館, 1993.4. れんが書房新社(発売), 1993.4. 原子力発電から原発事故、エネルギー問題を考える。	543/Ta29
『ぼくが、原発に反対する理由：“海”を見た原発技師』 西岡孝彦著. 徳間書店, 1989.5. 元原発技師の書いた本。	543/N86
『東海村臨界事故への道：私われなかった安全コスト』 七沢潔著. 岩波書店, 2005.8. 東海村臨界事故のドキュメンタリー。	539.9/N48
『原発事故を問う：チェルノブイリから、もんじゅへ』 七沢潔著. 岩波書店, 1996.4. (岩波新書; 新赤版 440). チェルノブイリともんじゅを知る。	543/N48
『原発はなぜ危険か：元設計技師の証言』 田中三彦著. 岩波書店, 1990.1. (岩波新書; 新赤版 102). 元設計技師の書いた本。	543/Ta84
『原発スキャンダル』 木原省治著. 七つ森書館, 2010.5. 中国地方の原発をめぐる問題について書かれた本。	543.5/Ki17
『まるで原発などないかのように：地震列島、原発の真実』 原発老朽化問題研究会編. 現代書館, 2008.9. ゲンパツを考える。	543.5/G34
『核実験の果てに』 豊崎博光編著. 日本図書センター, 1999.2. (原発・核：写真・絵画集成; 第1巻). 写真が物語る核・核実験とは。	539.9/G34/1
『チェルノブイリの悲劇』 広河隆一編著. 日本図書センター, 1999.2. (原発・核：写真・絵画集成; 第2巻). 1986年のチェルノブイリ原子力発電所事故を写真を通してみる。	539.9/G34/2
『原発と未来のエネルギー』 豊崎博光, 広河隆一編著. 日本図書センター, 1999.2. (原発・核：写真・絵画集成; 第3巻). 日本の身近な原発と、未来のエネルギーを考える。	539.9/G34/3

### 《エネルギー問題》

『私たちの選択：温暖化を解決するための18章』 アル・ゴア著; 枝廣淳子訳. ランダムハウス講談社, 2009.12. <span style="background-color: yellow;">オススメ!</span> ノーベル平和賞受賞元アメリカ副大統領アル・ゴア氏のベストセラー。	519.1/G67
『エネルギー政策の歩みと展望』 通商産業省資源エネルギー庁編. 通商産業調査会, 1993.7. 世界と日本のエネルギー。	501/Sh29 (書庫)
『二一世紀のエネルギーと環境』 中島篤之助. 新日本出版社, 1995.9. (自然と人間シリーズ). 自然と人間の共存のために。	501/N32
『風と太陽と海：さわやかな自然エネルギー』 牛山泉 [ほか] 共著. コロナ社, 2001.9. (シリーズ21世紀のエネルギー / 日本エネルギー学会編; 3). 自然エネルギーを考える。	501.6/U94

『昨日今日いつかる明日：読切り「エネルギー・環境」』 村上信明著.現代図書.星雲社(発売),2008.2. これからのエネルギー・環境問題。	501.6/Mu43
『ソフトランディングの科学：ゆっくり、時間を長く』 池内了著.七つ森書館,2006.2. <b>オススメ!</b>	519/I35
『現代世界の資源問題入門』 岩淵孝著.大月書店,1996.7. 地球のエネルギー資源について考える。	602/I92
『石油と原子力に未来はあるか：資源物理の考えかた』 樋田敦著.亜紀書房,1978.2. 資源とエネルギーを考える。	429/Ts92/S
『生存の条件：生命力溢れる太陽エネルギー社会へ』 地球環境問題を考える懇談会[編].旭硝子財団,2010.5. 太陽エネルギーを考える。	519/C44
『エネルギー・自然・地域社会：戦後エネルギー地域政策の一史的考察』 笹生仁著.ERC出版,2000.10. エネルギー政策を考える。	501/S77 (書庫)
『環境問題の基本のキホン：物質とエネルギー』 志村史夫著.筑摩書房,2009.3.(ちくまプリマー新書;104). <b>オススメ!</b>	519/Sh56
『脱原子力の運動と政治：日本のエネルギー政策の転換は可能か』 本田宏著.北海道大学図書刊行会,2005.2.	543.5/H84

## 《海と魚と原発》

『魚は人間の手では作れない：原発で苦しむ漁民の立場から』 川辺茂著.樹心社,1984.8. <b>オススメ!</b>	660.2/Ka91
『放射能がクラゲとやってくる：放射能を海に捨てるってほんと?』 水口憲哉著.七つ森書館,2006.5. <b>オススメ!</b>	539.6/Mi94
『魚を楽しく食べ続けたい：魚から環境問題を考える』 水口憲哉著;グリーンコープ,コミュニケーションワーカーズ連(REN)編集.日本消費者連盟,2008.6. <b>オススメ!</b>	664/Mi94
『海はだれのものか：埋立・ダム・原発と漁業権』 熊本一規著.日本評論社,2010. 漁民の目線にたつて漁業権を解説した本。	661.1/Ku34
『熊野漁民原発海戦記：芦浜原発反対闘争の回想』 中林勝男著.技術と人間,1982.4. 漁民と海を守るために。	660.2/N31



## 《おまけ:リサイクル図書から》

『原発を考える50話』 西尾漢著.新版.岩波書店,2006.2.(岩波ジュニア新書;529) <b>オススメ!</b>	リサイクル図書
『ガスプロムが東電を買収する日』 中津孝司著.ビジネス社,2007.10	リサイクル図書

★★このリストにあげたのは原発・エネルギーについての本のごく一部です。  
展示してある本の請求記号のあたりの本棚を見ると、同じテーマの本が並んでいますので、本棚も眺めてみてください。★★